

F-1 住民参画と協働の推進

1 施策の目的（どのようなまちを目指すか？）

市民一人ひとりがまちづくりの主役として参画し、多様な主体が協働して地域課題を解決する活力あるまちを実現します。そのため、地域自治の強化により、市民主体の地域づくりを推進し、地域の個性と魅力を高めます。また、地域づくり団体やNPO、若者など多様な層との協働体制を構築し、さらに多文化共生と国際交流の推進により、開かれた地域社会を形成し、持続可能で包容力のあるコミュニティを目指します。

2 現状と課題（どのような状態か？）

現状	課題
地域コミュニティの活力低下と自治機能強化への要請	地域自治組織の機能強化と市民主体の地域づくり活動の促進により、地域の課題解決力向上と活力ある地域コミュニティの再生が必要です。
多様な主体との協働ニーズの拡大	地域づくり団体やNPOとの協働体制の構築により、専門性を活かした地域課題解決と市民活動の活性化が必要です。
若者の地域参画と多様な市民参加への期待	若者をはじめとする多様な層の市民参画機会の創出により、新たな視点による地域づくりと持続可能な担い手確保が必要です。
多文化共生と国際化への対応要請	多文化共生の推進と国際交流の活性化により、多様性を活かした地域づくりと国際感覚豊かな人材育成が必要です。

3 基本事業（課題を解決するために何に取り組むか？）

基本事業	取り組み内容	期待される効果
地域自治の強化支援と活力ある地域づくりの推進	自治会・地域協議会支援、地域づくり活動助成、リーダー育成、地域課題解決支援	地域自治力向上、市民参加促進、地域課題解決、コミュニティ活性化
地域づくり団体・NPOとの協働体制の構築	協働事業推進、NPO活動支援、ネットワーク構築、中間支援機能強化	協働体制確立、市民活動活性化、専門性活用、地域課題対応力向上
若者・多様な層による市民参画の場づくり	若者会議開催、市民参画制度充実、多様な参加機会創出、デジタル参画促進	若者参画促進、多様性確保、新たな発想活用、持続可能な担い手確保
外国人に関すること 多文化共生と国際交流の推進	多文化共生推進、国際交流事業実施、外国人住民支援、国際理解教育推進	多文化共生促進、国際交流活性化、相互理解深化、国際感覚向上

4 目指すSDGsのゴール



5 関連する個別計画

個別計画名	個別計画の内容	計画期間
新市まちづくり計画	新たな市制施行に伴い、都市機能の再編や行政サービスの整備、地域資源の活用などを通じて将来のまちづくりの方向性を示す計画	
曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略	人口減少対策や地域経済の活性化、子育て・働き方改革、移住定住促進など多分野の施策を総合的に実施し、まち・ひと・しごとの好循環を創出する戦略	(2026～2030)
曾於市女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画	女性活躍推進法に基づき、女性職員の管理職登用や職場環境整備、ワーク・ライフ・バランス支援を目指す行動計画で、男女平等の職場づくりを推進	(2026～2030)
曾於市特定事業主行動計画（後期計画）	次世代育成支援対策推進法に基づき、職員の子育てと仕事の両立支援や働き方改革を進めるための後期行動計画で、育児休業取得促進などを盛り込む	2025～2029
第2次曾於市男女共同参画プラン／配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援計画	男女が対等に参画できる社会の実現を目指し、意識啓発や職場・地域での環境整備、DV防止と被害者支援体制の強化を進める総合計画	2018～2027
曾於市地域コミュニティ活性化推進計画	人口減少・高齢化が進む中、行政の過度な関与は地域の自主性を損なう恐れがあるため、地域の自主性を尊重し、側面支援を行い自立した地域社会構築を図るための計画	(2026～2030)

F-2 移住・定住の促進と関係人口の創出

1 施策の目的（どのようなまちを目指すか？）

多くの人に選ばれ、住み続けたいと思われる魅力的なまちを実現します。そのため、移住・定住のための環境整備と分譲地の供給により、新たな住民の受入れ基盤を構築し、人口の維持・増加を図ります。また、移住者への支援と地域定着の促進により、安心して暮らし続けられる環境を提供し、さらに関係人口の創出により、地域との多様な関わりを持つ人々を増やし、地域活力の向上と持続可能な地域づくりを目指します。

2 現状と課題（どのような状態か？）

現状	課題
住宅需要と定住促進のための基盤整備要請	魅力的な分譲地の整備により、移住・定住希望者のニーズに対応した居住環境の確保と定住人口の増加が必要です。
移住者の地域定着と関係人口拡大への期待	移住者への支援と関係人口の創出に向けた取組み強化により、地域への定着促進と多様な形での地域関与者の拡大が必要です。

3 基本事業（課題を解決するために何に取り組むか？）

基本事業	取り組み内容	期待される効果
移住・定住のための分譲地整備	分譲地整備、住宅取得支援、インフラ整備	住宅供給促進、定住人口増加、地域活性化、税収増加
定住・地域定着への伴走と関係人口の創出	移住相談・支援、定住サポート、関係人口創出事業、地域交流促進	移住促進、地域定着率向上、関係人口創出

4 目指すSDGsのゴール

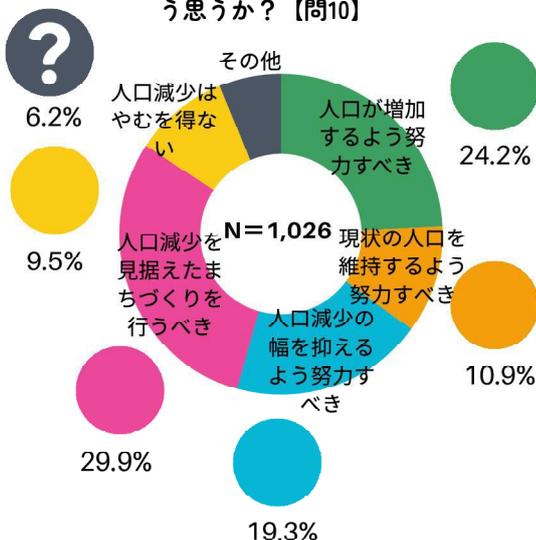


5 関連する個別計画

個別計画名	個別計画の内容	計画期間
曾於市過疎地域持続的発展計画	過疎地域における定住促進や産業振興、生活環境の整備などを通じて地域資源を活かした持続可能な地域社会の形成と活力向上を目指す	(2026~2030)
曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略	人口減少対策や地域経済の活性化、子育て・働き方改革、移住定住促進など多分野の施策を総合的に実施し、まち・ひと・しごとの好循環を創出する戦略	(2026~2030)

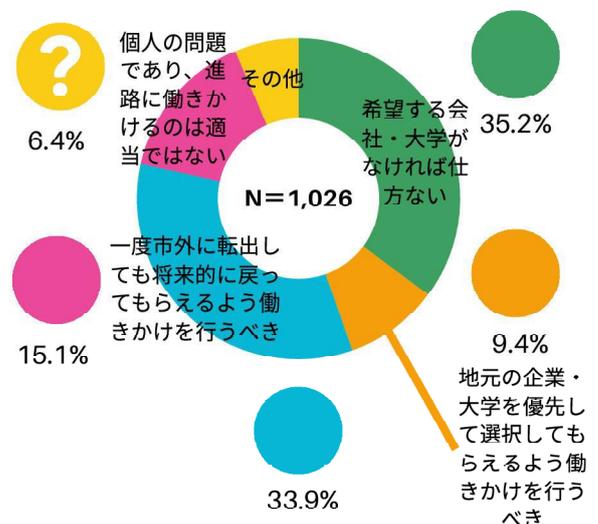
市民意識調査結果 (2024)

曾於市の人口が減少していることについてどう思うか? 【問10】



市民意識調査結果 (2024)

学生の多くが卒業後、市外の就職先を選択することについてどう思うか? 【問11】



F-3 多様な主体との連携強化

1 施策の目的（どのようなまちを目指すか？）

地域内外の多様な主体と連携し、それぞれの強みを活かした公民連携・協働により、地域課題の解決と発展を実現するまちを目指します。そのため、地域外の公的機関や専門機関との連携を促進し、専門的知見やノウハウを地域づくりに活用します。また、企業・団体・金融機関等との戦略的な公民連携を推進し、連携により、地域資源の有効活用と新たな価値創出を図ります。さらに産学官金連携と公民連携を一体的に展開する体制を構築することで、持続可能で革新的な地域発展を推進します。

2 現状と課題（どのような状態か？）

現状	課題
専門的支援と広域連携への要請拡大	地域外の公的機関や専門機関との連携強化により、専門的知見の活用と広域的な課題解決への対応力向上が必要です。
民間活力活用と産学官連携への期待	企業・団体・金融機関等との連携推進により、民間の創意工夫と資源を活用した地域発展と新たなビジネス機会の創出が必要です。
公民連携の体制整備と内部基盤の課題	行政主導から公民連携型の協働へ転換し、庁内横断的な推進体制と、中間支援的な機能を備えた持続的な連携基盤の構築が必要です。

3 基本事業（課題を解決するために何に取り組むか？）

基本事業	取り組み内容	期待される効果
地域外の公的・専門機関との連携促進	大学・研究機関連携、広域行政連携、専門機関協定締結、技術・ノウハウ導入	専門性活用、技術革新促進、広域課題対応、政策立案能力向上
企業・団体・金融機関等との地域連携の推進	産学官連携推進、企業との包括協定、金融機関連携、民間活力活用	民間活力導入、新事業創出、資金調達多様化、地域経済活性化
公民連携推進体制の整備と連携基盤の強化	公民連携の推進体制の構築、公民連携人材の育成と意識改革、中間支援機能（エージェント的役割）の整備、連携案件の発掘と実践的協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・公民連携を担う体制・人材・仕組みが確立し、行政と民間が対等に協働できる環境が整う。 ・地域課題の解決力と民間活力の活用度が高まり、持続可能な地域経営が実現する。

4 目指すSDGsのゴール

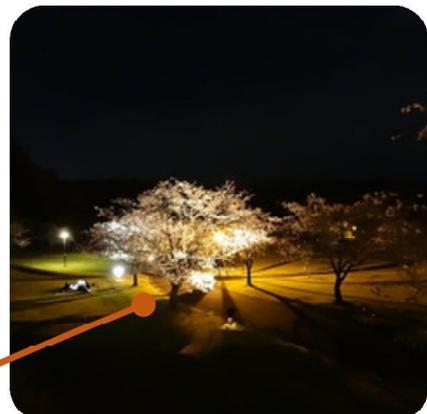


5 関連する個別計画

個別計画名	個別計画の内容	計画期間
曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略	人口減少対策や地域経済の活性化、子育て・働き方改革、移住定住促進など多分野の施策を総合的に実施し、まち・ひと・しごとの好循環を創出する戦略	(2026~2030)



[南九州畜産獣医学拠点
(通称スクラブ) オープニングセレモニー]



[夜桜のライトアップの様子]